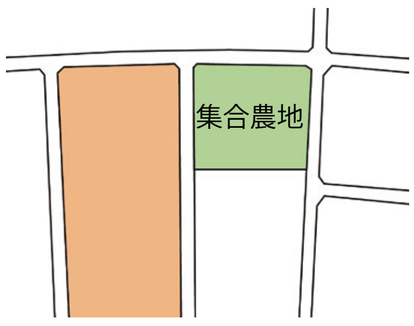
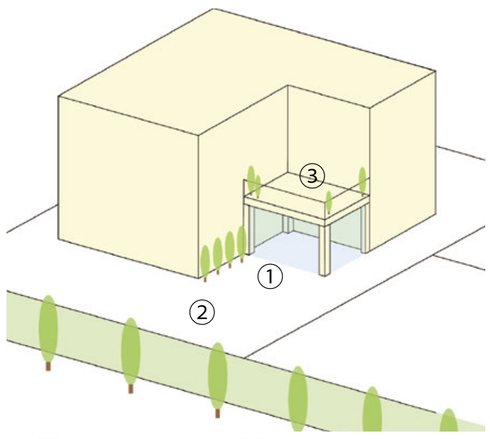
3. 集合農地に面する街区

スタジアム参道から東へ伸びる細長い街区。スタジアム参道と反対側のT字路が車交通を抑え、隣接する集合農地が静かな住環境をもたらす。通過交通が少なく安全であり、農地に隣接するため落ち着いた雰囲気であることから「子育て世帯」をターゲットユーザーとする。敷地それぞれが比較的大きい。路地2本と中庭1ヶ所を計画し、それらを介して住宅にアクセスする。路地と玄関の間には小広場やテラスを設けて大人の目が届く遊び場にする。

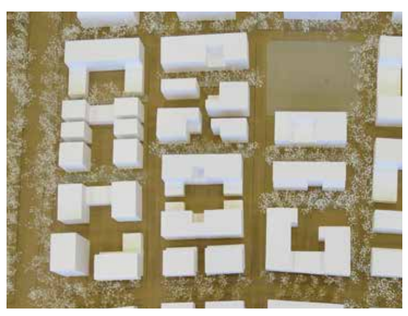


T字路で閉じられ集合農地に面する街区



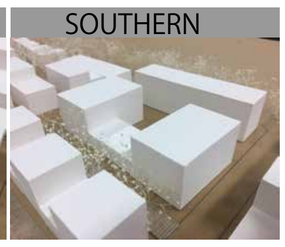
半屋外・半公半私空間
①路地からの玄関アクセス
②安全な子供の遊び場
③広場の子供を見守る共同テラス

テラス　中庭



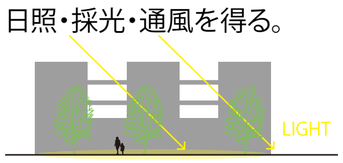
4. スタジアム参道と操車場の間の街区

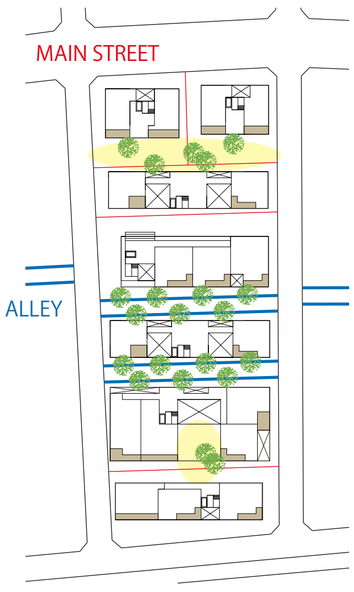
スタジアム参道の西側に埼玉高速鉄道操車場まで伸びる街区。敷地それぞれ間口が小さく細長い。主に横長住棟で構成する。スタジアム参道沿いに店舗を置く。1000㎡以上の敷地２ヶ所に通り抜けの路地を設けて住宅へのアプローチと緑地を兼ねさせる。中庭やスリットを設けて敷地の内側に日照採光通風を確保する。



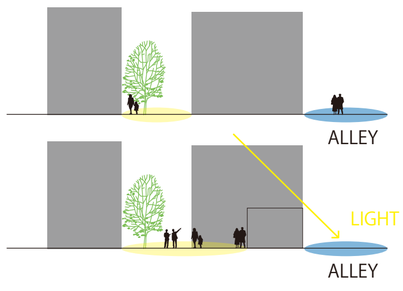
２ｍセットバック
スタジアム沿いの1階を２ｍ後退して歩廊を設けて店舗を配置する。背後は中庭として居住者が使う。

リズミカルな面のデザイン
共用部のボリュームを抑えて路地への圧迫感を緩和する。凹凸部分から日照・採光・通風を得る。



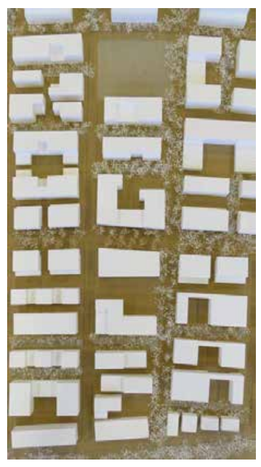


住棟の開き方
囲い型住棟が中庭を創る一方でピロティや共用部は通り抜けや見通しを確保して公私の濃淡を演出する。

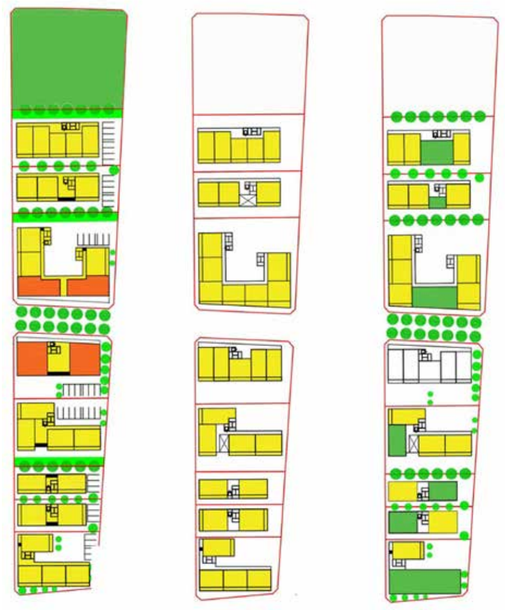


5. 集合農地とスタジアム参道をつなぐ街区

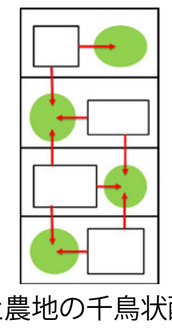
スタジアム参道を中軸に東西両方に伸びる街区。東端に集合農地がある。南北の区画道路で歩車分離して通り抜け路地で両者を渡す。住宅の屋上にも菜園を設けて農の要素を生活空間に採り入れる。



区画道路による歩車分離と路地の通り抜け



１階平面図　２階平面図　３階平面図



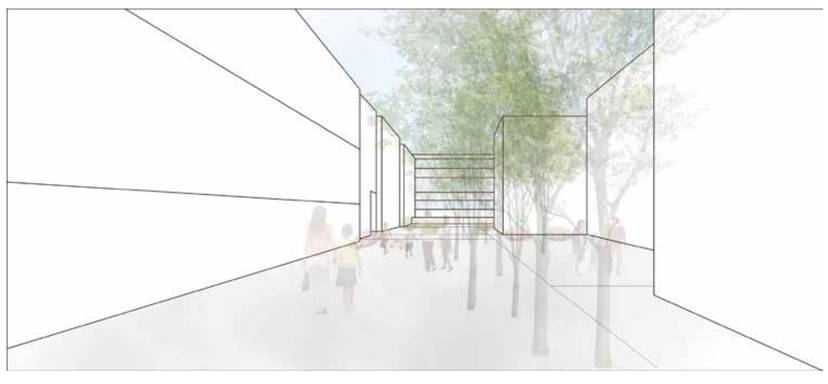
住宅と農地の千鳥状配置

6. スタジアム参道から離れて奥まった街区

この街区はスタジアム参道からも岩槻浦和線からも奥まった場所にある。短辺方向に路地を設け、北東の沿道施設と南西の一般住宅のエリアをつなぐ路地のネットワークを形成する。岩槻浦和線とスタジアム参道を結びつけることにもなる。長辺方向には庭を連続させて敷地を超えて日照採光通風を確保する。路地を通る人は連続した庭を通して光や風とともに生活の雰囲気を感じる。街区の内側にオープンスペースを設けることによって道路の喧騒から一線を置くことができる。岩槻浦和線越しには大学病院が計画されている。診療所や薬局など関連業種の立地が期待できる。

短辺方向の路地ネットワーク

長辺方向の庭の連続

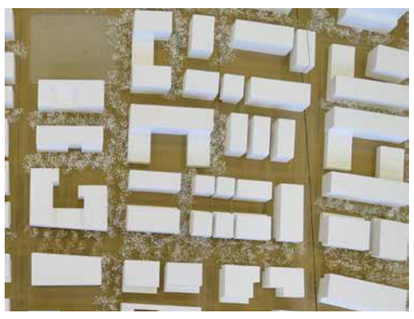


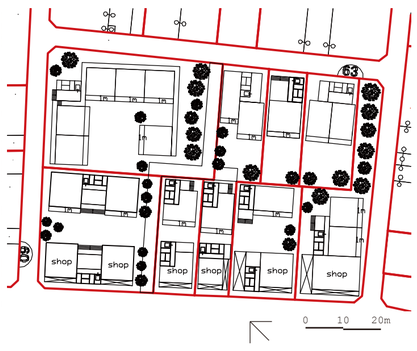
街区を貫く路地

7. 長辺がスタジアム参道に面する街区

街区の長辺がスタジアム参道に面するのはこの街区だけである。スタジアム参道沿いの地上階には店舗と配置するとともに歩廊を設ける。また街区の長辺方向に背割り線があり、街区の短辺方向の通り抜け路地を設けるには配慮と工夫が必要である。間口の小さな画地があり、共同利用が難しい場合は壁面や空地を揃えるなど街区単位の計画が効率的かつ快適な住環境を獲得するには必要である。

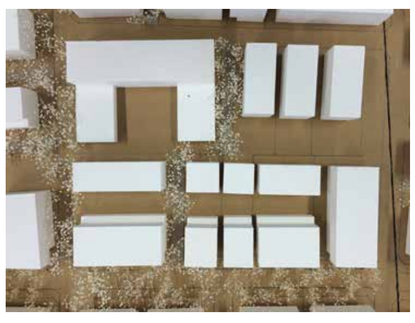
提案1
街区の短辺方向に路地を通すことでスタジアム参道とその反対側の区画道路を結ぶ。さらに東側に隣接する街区の路地と位置を合わせて岩槻浦和線まで通り抜けを伸ばす。

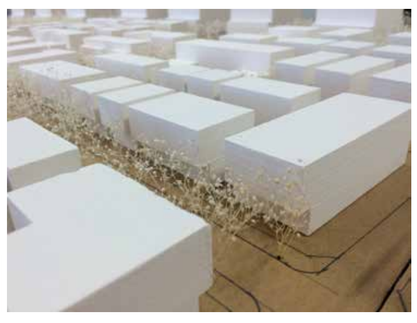




提案2
スタジアム参道に面する地上階に店舗を設ける。背後は長い中庭のように各住戸の庭を連続させる。

提案3
居住者は各住戸までピロティまたは路地を通ってアプローチをする。プライバシー確保のため1階の高さを1m上げ、植栽を設ける。

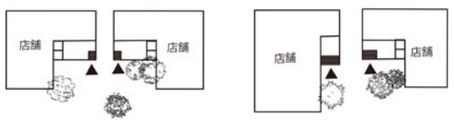




8. スタジアム参道に面するペア街区

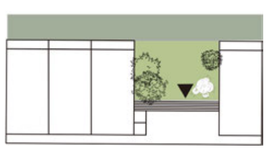
スタジアム参道に面して並ぶ２つの街区。中央ブロックの中心に位置する。スタジアム参道沿いと埼玉高速鉄道操車場寄りの画地は細分化されている。その内側には横長の画地がある。

地上階配置図

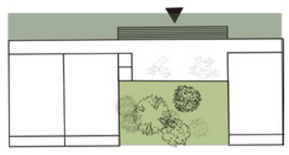


スタジアム参道沿い店舗

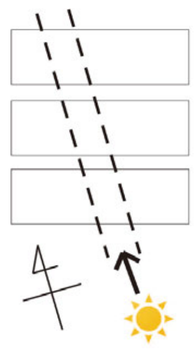
スタジアム参道沿いの店舗付き住宅は1階を店舗、２・３階を住宅とする。店舗の背後には隣接した住棟と共同で使用できる中庭空間を設ける。住宅へのアクセスは区画道路→路地→中庭の順に進み、公共空間から私空間へ段階的に移行する。スタジアム参道から離れた横長の画地は横長型の住棟を計画する。北側の街区には横長型住棟を3つ並べ、真北に向かって住棟を斜めに割くようにスリットを開けて採光を確保するとともにそこをエントランス兼中庭とする。こうして連担する中庭は路地を通るときに垣間見れて奥行きを感じるとともに視界が奥へ通って防犯にも繋がる。住戸の日照優先して北側廊下にすることで中庭がエントランスの手前にあるものと奥にあるものの２タイプができる。



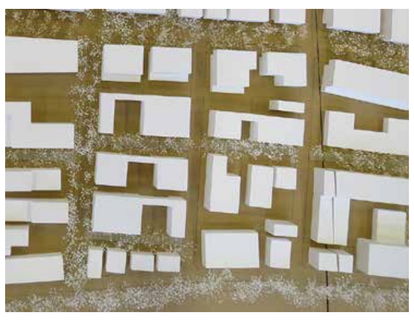
横長・中庭手前型



横長・中庭奥型



日差しを導くスリット



Hidetoshi Maeda, Namiho Tanaka, Shiori Onodera, Shinya Taguchi, Takuma Anan, Ayumi Ishikawa, Hitomi Ishizuka, Kotaro Inoue, Kiyomasa Endo, Shiyu, Rina Naoe, Sayaka Nose, Ayaka Haga, Masato Yasui and Kakugen Ryu